

うたと打楽器による音楽劇

ラッセのにおで

原作/エルサ・ベスコフ 訳/石井登志子 台本・作曲/川中美樹

ラッセは
お父さんにもらったボールを持って
庭へかけだしていきました
ところが・・・
ボールはころころ転がって
かかしさんにきいても
キャベツ夫人にきいても
見つかりません
はたしてボールは見つかるのでしょうか

うたと打楽器アンサンブルでおくる

素朴で心温まる音楽劇

演出 伊藤多恵

生の舞台だからこそ
醸し出すことのできる
おいしい空気を手渡すこと
子どもたち自身が感じ想像し表現する
喜びに出会う手助けをすること
舞台を通して子どもたちの心に
豊かなたねをまくこと
これが私たちの願いです



食べてしゃべって歌って踊って・・・そんな当たり前のことを我慢する2年半が過ぎました。子どもたちは、一見たくましく、または飄々と日々を過ごしているように見えるかもしれません。でも、本当のところはどうでしょう。そんな子どもたちに、今、届けたい、と思い、しばらくお休みしていたラッセのにおでを再演します。くすくすあはは・・・♪おもしろ歌やことばあそびと、何気ないファンタジーの音楽劇を、人のからだと声、そして自然のものからうまれた打楽器小道具たちでお届けします。



作品詳細はこちら
↑